

日本プロテオーム学会 2023 年大会

JPrOS2023

(JHUPO 第 21 回大会)

開催趣意書

2022 年 11 月吉日

日本プロテオーム学会 2023 年大会
大会長 松本 雅記
新潟大学医学部医学科

ご挨拶

謹啓

平素は日本プロテオーム学会に対してご高配を賜り、格別なご支援を頂いておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、この度、本学会では日本プロテオーム学会 2023 年大会（JHUPPO 第 21 回大会）を 2023 年 7 月 24 日から 26 日の日程で開催させていただくこととなりました。

日本プロテオーム学会（Japanese Proteomics Society : JPrOS）は、2002 年に設立された日本プロテオーム機構（JHUPPO）を母体とし、2009 年に多様な生物種を対象としたプロテオーム研究全体を推進することを目的に設立されました。国際的な学術組織であるヒトプロテオーム機構（HUPO）の日本側対応機関としての役割を担うとともに、国内のプロテオミクス研究の発展や若手研究者の育成に努めています。また、2021 年 7 月に日本学術会議登録団体として正式に認められました。現在は 800 名を超える大学・学術研究機関および企業の研究者、研究支援者、大学院生などが学会員として登録されています。

日本プロテオーム学会は 2019 年まで毎年日本各地で年大会を開いており、全国各地から 300 名～400 名の大学や学術研究機関および企業のプロテオミクス研究に関わる研究者、研究支援者、大学院生が参加してきました。プロテオーム解析の最新技術、基礎生物学から農学・医療への応用、インフォマティクスなど幅広い研究成果の発表と議論の場、そして、多くの関連企業の皆様とランチョンセミナーや展示ブースを通じた最新技術・分析装置などの情報交換の場として開催してまいりました。2020 年からコロナ禍の影響で、中止やオンライン開催を余儀なくされておりましたが、第 20 回目の節目となる 2022 年度の大会は、2 年ぶりの対面開催が行われ、自由かつ闊達に議論することの重要性が再認識されました。2023 年度は、人と人が交流することで生まれる新たな研究の展開を促すべく、約 10 年ぶり 2 度目となる新潟の地（朱鷺メッセ）にて開催することを目指しております。

近年、プロテオームに関わる技術の発展はめざましく、基礎生物学はもとより、医学や農学、さらには食品科学に至るまで、欠かすことのできない重要な研究手法となってきました。また、プロテオミクスにおける人工知能技術の応用、構造生物学との融合、さらにはシングルセルプロテオミクスの実現など、着実に次のフェーズに向かいつつあります。

2023 年度大会では、このように発展著しいプロテオーム研究成果を持ち寄り、発表・議論の場を設けることで、今後の日本のプロテオーム研究をさらに活性化するための起爆剤としたいと思います。また、プロテオーム研究において、さまざまな民間

企業様からご提供いただく技術や機器は欠かすことができないものです。是非、ランチョンセミナーや展示ブースを介して最新技術・分析装置に関する情報をプロテオーム研究者にご紹介いただければ幸いです。

つきましては、2023年大会の開催に当たりまして本大会の趣旨にご賛同いただき、貴社のご協力を賜りたくお願い申し上げます。ランチョンセミナーや開催期間中の展示会、要旨集への広告、または賛助金の形でのご支援など、ご意向に沿った対応が可能です。是非ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

末筆で恐縮ですが、貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2022年11月吉日

日本プロテオーム学会 2023年大会

大会長 松本 雅記



日本プロテオーム学会 2023 年大会 (JHUPO 第 21 回大会) 開催概要

1. 会議の名称

日本プロテオーム学会 2023 年大会 (JHUPO 第 21 回大会)

※日本プロテオーム学会 2023 年大会は JHUPO 第 21 回大会に対応しますので併記しています。

※日本プロテオーム学会 2023 年大会の略称を“JPrOS2023”としています。

2. 主催機関及び責任者

主催機関	日本プロテオーム学会
	会長 小寺 義男
責任者	松本 雅記

3. 学会開催の予定

開催日程：2023 年 7 月 24 日（月）～ 26 日（水）

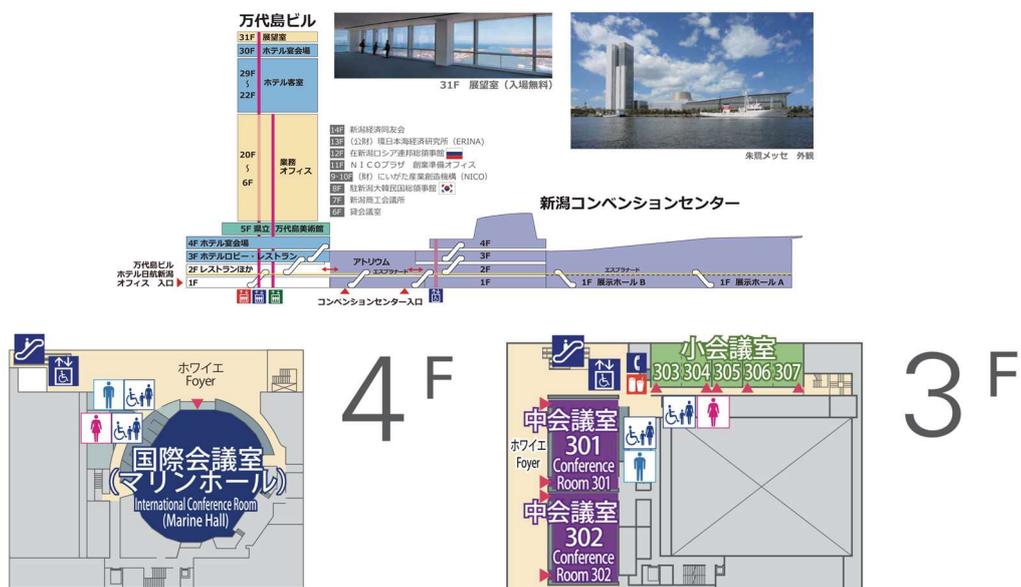
開催場所：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号

Tel: 025-246-8400 (代) Fax: 025-246-8411

会場案内

第 1 会場	新潟コンベンションセンター 4F 国際会議室（マリンホール）
第 2 会場	新潟コンベンションセンター 3F 中会議室 301（予定）
ポスター・展示	新潟コンベンションセンター 3F 中会議室 302（予定） および 3・4 階ホワイエ
懇親会会場	ホテル日航新潟（予定）



4. 会議の目的

プロテオミクスをキーワードに幅広い分野の研究や開発に関わる者が一斉に集い、情報交換のみならず、熱い議論を交わす場を提供することを目的とします。特別講演、受賞講演、シンポジウム、ポスターに加え、ランチョンセミナーや展示を通して産学官の親睦を深めます。本大会を通して、基礎生物学から医学まで欠かすことのできない中核的な研究方法として定着したプロテオミクスの更なる発展を促すことを目指します。

5. 会議の概要

- (1) 大会テーマ：プロテオミクスの現在と未来
- (2) 参加予定人数：400名(予定)
- (3) プログラム概要：詳細下記(予定)
- (4) ホームページ：<https://www.jhupo.org/2023/>

日付	午前	昼	午後
7月24日 (月)		基調講演	教育講演 受賞講演
7月25日 (火)	特別講演 シンポジウム	ランチョンセミナー ポスター発表	基調講演 特別講演 シンポジウム
7月26日 (水)	特別講演 シンポジウム	ランチョンセミナー ポスター発表	シンポジウム 表彰式

6. 寄付等を必要とする理由

本大会を主催する日本プロテオーム学会は、日本ヒトプロテオーム機構(Japan Human Proteome Organisation, JHUPRO)を主宰すると共に、我が国におけるプロテオーム研究の普及をはかり、その発展に寄与するため、医学、薬学、農学、理学、工学等の広い分野の基礎から応用に至る研究活動に大きく寄与してまいりました。2023年は新潟県新潟市で開催し、400名程度の参加者を見込みますが、学生をはじめ多くの皆様にご参加をお願いするため手頃な参加登録料を設定する予定です。

本大会に要する総経費は、10,000千円程度を予定しており、展示会、ランチョンセミナー、要旨集への広告等によるご支援が不可欠となります。是非、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

7. お問い合わせ先

JPrOS2023 事務局

〒951-8510

新潟市中央区旭町通1番町757番地 新潟大学医学部共同研究棟410

Tel: 025-227-2078・Fax: 025-227-0757

E-mail : jpros2023@jhupo.org

8. 大会組織委員（敬称略）

大会長 松本 雅記（新潟大学）

副大会長 紀藤 圭治（明治大学）
大槻 純男（熊本大学）

実行委員会（50音順）

足立 淳（医薬基盤・健康・栄養研究所）

荒川 憲昭（国立医薬品食品衛生研究所）

奥田 修二郎（新潟大学）

押川 清孝（新潟大学）

川島 祐介（かずさDNA研究所）

木村 弥生（横浜市立大学）

小林 大樹（新潟大学）

近藤 格（国立がんセンター）

武森 信暁（愛媛大学）

幡野 敦（新潟大学）

増田 豪（熊本大学）

本多 敦子（新潟大学）